

社会保険料控除の対象です

国民年金は、老後の生活保障のほか、病气やけがで障がいが残った場合などに、あなたや家族を助けてくれる制度です。国民年金の制度を理解し、みんなが安心して生活できる社会をつくりましょう。

11月30日は「年金の日」

厚生労働省では「国民お一人お一人、ねんきんネット」等を活用しながら、高齢期の生活設計に思いを巡らしていただく日」として、11月30日を「年金の日」としました。この機会に「ねんきん定期便」や「ねんきんネット」で年金記録と年金受給見込額を確認



窓口で丁寧に対応しています

社会保険料控除証明書を送付

国民年金保険料（以下、保険料）は、所得税法および地方税法上、健康保険や厚生年金などと同様に、その年の課税所得から社会保険料として控除でき、税額が軽減されます。控除の対象は、過年度分や

追納分も含み、平成26年1月から12月までに納めた保険料の全額。配偶者や子どもなどが負担すべき保険料を支払った場合にも合わせて控除が受けられます。26年中に納付した保険料について社会保険料控除を受けるには、年末調整や確定申告の際に保険料を支払ったことを証明する書類の添付が必要になります。26年1月1日から9月30日までの間に保険料を納付した人へは、11月に日本年金機構が「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」を送付（26年10月1日から12月31日までの間に、ことし初めて保険料を納めた人は、27年2月に届きます）。確定申告などを行う際は、必ずこの証明書または領収証書を添付してください。

国民年金は、老後はもちろん、不慮の事故など万が一のときに心強い味方になる制度です。税法上の優遇を受けることもできます。保険料は忘れずにきちんと納めましょう。■問い合わせ先 関年金事務所（0191-424246）

ILCを見据えたまちづくりへ

市は、ILCの実現を見据えたまちづくりに向けて、高エネルギー加速器研究機構（KEK）と公民学連携でまちづくりを進める拠点「柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）」などを10月30日、31日に視察しました。今回は、この視察の様子や10月1日から市ILC推進室に着任したILC国際化推進員についてお知らせします。



市が東北誘致に取り組んでいる「国際リニアコライダー（以下、ILC）計画」について最新情報をお届けします

第24回



KEK 藤本順平講師による施設の説明

今回の視察には、市長をはじめ、部長級やILC計画応援チーム員など職員20人が参加しました。1日目は、茨城県つくば市にある国内の加速器研究を先導する研究所KEK（鈴木厚人機構長）を視察。ILCで使われる加速器の研究開発を行う試験施設などを見学し、ILCに対する理解を深めました。

センター長が製造方法を説明。ILCの加速器ユニットの試験施設では、早野仁司教授から、仕組みや製造方法の説明を受けました。山中センター

長は、加速器の製造について「大手メーカーに発注するとコスト高になる。自分たちの研究から得られた知見を地元企業と共有し、一緒に製造できれば」と話していました。2日目は、千葉県柏市のUDCK（出口敦センター長）を訪ね、同市北部で進めている「柏の葉キャンパス」のまちづくりについて、同センターの概要と併せて三牧浩也副センター長から説明を受けました。

柏の葉キャンパスは、これまで行われてきた行政主体のまちづくりとは異なり、市や東京・千葉大学、三井不動産地元協議会などが共同でUDCKを運営。環境や交通、健康など8つの目標を掲げた「柏の葉国際キャンパスタウン構想」をまちづくりの指針とし、先進的な取り組みを実



UDCK内にあるまちづくり模型を見学

践しています。まちづくりへの市民参画の裾野を広げるため、新しいコミュニケーションプログラムを実施。市民と共にまちづくりを学ぶ「まちづくりスクール」の開催や、趣味で市民をつなぐ「まちのクラブ活動」などを展開しています。三牧副センター長は「新しい取り組みを地域に根付かせることは難しい。これらをまちづくりや住民の生活とうまくつなぐことがUDCKの役割」と話していました。国内の加速器研究の拠点とまちづくりの新たな取り組みに理解を深めた本視察。市は、今後もILCを核としたまちづくりに向け、取り組みを進めていきます。

トマス・アンナさん ILC国際化推進員として着任

市は、ILCの実現に向けて、地域と行政の国際化、英語による地域情報の発信を進めるため、10月1日からILC国際化推進員を任命しました。着任したのは、アメリカオレゴン州出身のトマス・アンナさん（29）です。

フェイスブックによる情報発信などを行っていますので、ご覧ください。

《検索してアクセスを！》

Oshu ILC フェイスブック

検索



本市の素晴らしさを海外に紹介します。皆さんもぜひ「いいね！」を！

姉妹都市 掛川だより

町並みと美の晴れ舞台

遠州横須賀街道ちっちゃな文化展



作家さんの感性や芸術作品で町並みを美術館化

ちっちゃな文化展が10月24日～26日、城下町の面影を残す横須賀地区の街道約2 kmを舞台に開催されました。町並みの良さを住民に気付いてもらい、残すためのきっかけづくりにしようと遠州横須賀倶楽部（竹内誠人代表）が企画し、今年で16回目になります。事業に賛同するお宅の軒下や玄関、部屋など約70会場を借り、ベテランから新進気鋭の作家約90人が芸術作品の展示や披露を行いました。芸術作品を楽しみながら町並みを感じることもできる、いわば「町並み美術館化」事業です。

《市民広報レポーターによる動画検索はこちら！》

掛川 市民レポーター映像編

検索